

個別講座名	IPW を促進する F-SOAIIP リーダー養成研修 ～ミクロ・メゾ・マクロレベルでの好循環とエコシステム～ (オンライン開催)		
担当教員	○ 嵩末 恵子、小嶋 章吾 (国際医療福祉大学大学院 特任教授) 他ゲスト数名 (3 回目)		
開講日時	1 回目：7 月 17 日 (金) 11:00～17:00 * 事前学習：1 時間分をオンデマンド 2 回目：9 月 4 日 (金) 13:00～17:30 3 回目：10 月 30 日 (金) 13:00～17:30		
総時間数	研修時間数：15 時間 (事前のオンデマンド学習 1 時間 / 5 時間 / 4.5 時間 / 4.5 時間) 履修証明プログラムにおける時間数：20 時間* * 1 時間 = 45 分間 (実質の受講時間) + 15 分間 (自己学習)		
講義概要	<p>※3 回とも講義および演習ワーク (個人・グループ) を実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> • F-SOAIIP の概要と特徴 (多領域の実践・研修・研究・システム搭載例等) を学ぶ • F-SOAIIP による IPW を理解する～ミクロレベルの導入とメゾ・マクロ展開～ • 先進例から導入プロセスや効果を学び、IPW の実践変容による好循環や DX を展望する <p>※ゲスト：受講者の目標や職種をふまえ、多機関多職種へ依頼</p> <p>※3 回分の出席と課題提出により、本講座修了とする</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> • F-SOAIIP の講義や書換えワーク、伝達研修などを通じ、IPW (医療・福祉・教育等の多領域、多機関多職種) の実践変容による好循環や諸課題解決に向けた DX を展望できる。 • F-SOAIIP の普及・導入を推進できるリーダーに求められる役割を理解する。 		
講義内容及び方法	開講日	講義内容	講義方法
	1 回目 7 月 17 日 (金) ※オンライン	<p>『F-SOAIIP の概要と特徴を学ぶ』</p> <ul style="list-style-type: none"> • F-SOAIIP の概要 (定義・DX 等) ⇒ 病院・自治体・大規模法人等における多領域のシステム搭載・生成 AI 活用例 • PDCA サイクルにおける実施段階の経過記録と IPW・諸課題との関連 • IPW を可視化する F-SOAIIP の理解 • F-SOAIIP への転換：IPW に役立つ場面 • 新たな挑戦を意味づけるリフレクション 	<p>※F-SOAIIP ワークシート【初回版】提出</p> <p>→ 当日提出できなかったシート・リフレクション等は、7/31 までに提出</p>
	2 回目 9 月 4 日 (金) ※オンライン	<p>『F-SOAIIP による IPW を理解する～ミクロレベルの導入とメゾ・マクロ展開～』</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 回目のリフレクションや課題等を共有 • 講義：F-SOAIIP の横断的な応用 カンファレンスや事例検討、LIFE のフィードバック活用、OJT、セルフスーパービジョン、BCP、報告書の分析等 • 講義：特徴的テーマと F-SOAIIP アプローチ 苦情対応、ヒヤリハット、意思決定支援、認知症 BPSD 等の予防、看取り、人材育成等、 • IPW や好循環に着目したリフレクション 	<p>※8/24 までに次のどちらかを提出</p> <ul style="list-style-type: none"> • F-SOAIIP ワークシート【導入版】 • 好循環シート 1 <p>※当日提出できなかったシート・リフレクション等は、9/18 までに提出</p>
	3 回目 10 月 30 日 (金) ※オンライン	<p>『先進例から導入プロセスや効果を学び、IPW による好循環や DX、エコシステムを展望する』</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2 回目のリフレクションや課題等を共有 <p>◆ゲスト数名による実践報告・交流</p> <ul style="list-style-type: none"> • F-SOAIIP 好循環モデルの作成・共有 • IPW の好循環に向けたリフレクション 	<p>※10/16 までに次のいずれかを提出</p> <ul style="list-style-type: none"> • F-SOAIIP ワークシート【OJT 版】 • IPW・F-SOAIIP 実践シート • 好循環シート 2 <p>※当日提出できなかったシート・リフレクション等は、11/13 までに提出</p>

事前学習・
準備等

- ① 本学の WebClass*を活用（資料等の閲覧やダウンロード）できるよう説明動画を視聴してください。説明動画には、F-SOAIP リーダー養成研修の課題やワークの成果を可視化する内容が含まれます。（事前のオンデマンド学習として換算）。
- ② 受講前に F-SOAIP を紹介している HP (<https://seikatsu.care/>) より、F-SOAIP のリーダー研修受講者等による専門雑誌での実践報告テーマや動画等を視聴してください（事前のオンデマンド学習として換算）。
- ③ 受講者には、1 回目に使用する F-SOAIP ワークシート【初回版】を配信しますので、所定の欄に、F-SOAIP へ書き換えたい場面を入力しておいてください。
- ④ 講座は、Zoom と Google スライドを使用して実施します。以下の基本的な操作方法を各自で実施できるようご準備ください。
 - Zoom：チャットへの入力、名前変更、ブレイクアウトルーム内への移動、画面共有
 - Google スライド：表や付箋への入力など
- ⑤ 受講当日は一人1台使用できるパソコンをご用意ください（zoom と Google スライドを同時に使用するため、原則スマートフォン、タブレットでの受講不可）。

※本講座は、F-SOAIP リーダー養成研修として位置付けていますので、事前学習・準備等にご協力ください。

※事前のオンデマンド学習は、①②2 つの動画を合わせて約 1 時間です。

*WebClass とは、本学で導入している e ラーニングシステム（学習支援システム）です。講座の教材・資料等の閲覧やダウンロード、課題（シート・リフレクション等）提出等に利用します。

IPW を促進する F-SOAIP リーダー養成研修

～ミクロ・メゾ・マクロレベルでの好循環とエコシステム～



日程(全 3 日間に要参加)

① 7/17:金 11:00～17:00
事前学習・オリ : 1 時間分をオンデマンド

② 9/4:金 } 13:00～17:30
③ 10/30:金 }

●受講料 9,000 円(税込)

●定員 原則 20 名

概要・目標・事前準備・課題等はシラバスをご参照ください。

F-SOAIP のシステム実装(2026 年 3 月末現在:予定を含む)

計8領域で 21 種/AI 等活用(要約・F-SOAIP 自動分類等:6 領域で 11 種)

● ケアマネジメント:5 種(要約・自動分類等:3) / 介護:5 種(認知症 BPSD の AI 等:2) / 地域包括ケア:1 種

●自治体・福祉相談記録:3 種(対象別分類:1) ●医療機関のカルテ:1 種

●児童領域:3 種(遠隔によるスパービジョン等:2)

●障がい領域:1 種(1) ●領域共通2種(2)

F-SOAIP の最新情報は HP(<https://seikatsu.care/>)をご参照。

F-SOAIP のリーダー養成研修としての開催は本研修のみ

事業所や法人・地域、自治体などを対象に、F-SOAIP の導入や研修を担い、IPW を促進できる人材養成を目的としています。

●専門雑誌・新聞での掲載 ※執筆や監修した専門誌等: 32 誌/148 本/延べ 253 名 (2026 年 3 月末現在:予定を含む) 連載中『自治実務セミナー』『月刊ケアマネジメント』『病院新聞』/連載済『月刊先端教育』『Vision と戦略』『月刊新医療』『訪問リハビリテーション』『住民行政の窓』等/特集済『月刊 J-LIS』『ケアマネジャー』『エキスパートナース』『臨床栄養』『デンタルハイジーン』等

●多領域の書籍を出版予定(2026 年度中):児童領域/障がい領域/介護支援専門員/医療機関等

東京都立墨東病院 副院長・看護部長 上野真弓様:2024 年度以降、計 12 名受講

看護部長らが 2022 年度より国際医療福祉大学にて受講し全看護部へ F-SOAIP の導入を図る。2024 年度からは本学当研修に職員派遣を継続。GE ヘルスケアのコマンドセンターと、F-SOAIP を搭載した富士通 Japan の電子カルテを両輪として DX を推進。データ分析により多職種連携の促進が病院経営に資することを確認。東京都立病院間の管理者異動による F-SOAIP の普及にも期待。「自治実務セミナー」「月刊新医療」「看護」「エキスパートナース」等に寄稿し、研究発表により発信。



幸手東地域包括支援センター センター長:中田理絵 様

2023 年度以降、計 3 名受講

保健師など複数名が受講し活躍中である。2026 年度の IPW 実習に地域ケア会議を主催する立場から協力し、地域課題をテーマとした事例検討を予定。地域の医療系専門学校では、寄稿した「月刊ケアマネジメント」により F-SOAIP を紹介している。



受講者を
リーダーとした職場の
好循環を紹介

2025 年度受講者の活躍!!

●うるま市子ども未来部子育て包括支援課:天願出 様

書籍「F-SOAIP の理論と実際 子ども家庭福祉編」に寄稿。

●大阪・大東市社会福祉協議会:村尾空見子 様/
佐々木志奈 様 /堀越星香 様

社会福祉協議会全体での F-SOAIP 導入成果を「月刊ケアマネジメント」2 回連載として発信。

●聖隷福祉事業団:牧野光子 様/中志野 様

当研修受講後、F-SOAIP 係を設け「F-SOAIP 便り」を毎月発行。「月刊ケアマネジメント」にて報告後、さらに 2 回の寄稿を準備中。

社会福祉法人生活クラブ風の村 副理事長

島田朋子様:2025 年度に計 6 名受講

副理事長らが 2019 年度(国際医療福祉大学)にて受講し、事故報告書や苦情対応、認知症ケアや外国人介護職の質向上等で効果を発揮し、法人計画にも位置づける。2023 年度より、当研修のゲスト講師として登壇。法人の計画に基づく F-SOAIP の拡大に向け、2025 年度は当研修に多機関多職種より 6 名が参加し、職場での浸透を図る。「介護人財」「カイゴの力」「Vision と戦略」等に寄稿。

<講師・ファシリテータ> 詳細は、本学の研究シーズをご確認ください。

鳧末 憲子(社会福祉子ども学科) 小嶋 章吾(国際医療福祉大学大学院)

●3 日目のゲストは、受講者の所属や職種等により決定します。

●研修中の資料に、上記書籍の該当頁を付記することがございます。

F-SOAIP を開発し多領域での社会実装を図るべく、実践導入・研修・執筆や教育・研究をサポートします。